

# なかの 市議会だより

10月号

2018年(平成30年)  
10月20日発行  
No.54

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会  
 ●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



中野市総合  
防災訓練  
防災フェア2018  
9/2



●市政一般質問

50件

その他	意見書案	人事案	事件案	決算案	予算案	条例案
1件	4件	1件	7件	9件	7件	4件
選任	可決	可決	可決	認定	可決	可決

●議案件数及び議決内容

開会	閉会	会期
9月4日	9月26日	23日間

9月定例会



高社小学校について

永沢 清生

**質問** 「通学路の歩道整備に関する要望書」への対応状況は。

**答弁** 今年度、歩道整備に伴う市道平岡10号線の予備調査を実施する。

**質問** 高社小学校への通学

方法について、倭小学校のPTA役員を対象とした説明会を実施した理由は。

**答弁** 統合準備委員会における「当事者である保護者の意見も聞くべき」との意見を踏まえて行った。

**質問** 説明会では、どのような意見が出されたか。

**答弁** 通学に公共交通機関を利用する場合、座れず危険である。低学年と高学年で交通手段が違うことにより、兄弟姉妹と一緒に登校ができない等の不安や学校敷地内へのバス停の設置要望、スクールバスの出発時間の変更要望等が出された。

**答弁** 「公共交通はスクールバスと比較しても、法的にも厳しく安全対策は万全である」との意見のほか、「バスの座席数や乗降場の要望は、事業者に依頼すべき」等の意見があった。

**質問** 通学方法の説明を保護者へ行わない理由は。

**答弁** PTA役員からは、現時点で保護者全体を集めての説明を望む声も少なく、また、同役員から具体的な意見も多く出されたため。

め、部会長等と相談した結果、全体での説明会を行う時期ではないと判断した。

**質問** 通学方法の今後の検討スケジュールは。

**答弁** 今年度中に通学方法を決定し、保護者に説明を行う。

その他の質問

**コミュニティスクールについて**

**高齢者肺炎球菌ワクチンについて**

**質問** ワクチンの接種率は。

**答弁** 平成29年度の接種率は定期接種で15・2%、任意接種で2・8%である。

**質問** 定期接種の全国平均

は約40%、長野県平均が全国トップで約60%である。中野市が極端に低いのは対象者に個別通知をしていないからと思われる。接種率の上昇による医療費の削減効果は非常に大きいとの国の試算結果もある。来年度



公共交通対策及び交通弱者対策について

町田 博文

**質問** ふれあいバスの停留所が自宅から遠い場合、その路線上であれば、一部の区間において途中乗車できるように弾力的な運用ができないか。

**答弁** 「フリー乗降区間」の設定など、利用者の公平性、安全性等も含め、慎重に検討を行いたい。

**質問** 交通弱者の方々に対しては、シルバー乗車券と同様なタクシー補助への切り替えや、ボランティアの方が送迎を行う家用有償旅客運送制度を活用するなど、新たな送迎サービスを検討してはどうか。

**答弁** タクシー補助については、福祉施策との関連を

**災害対策の充実について**

**質問** 液体ミルクを災害備蓄品へ追加してはどうか。

**答弁** 研究していく。

**質問** 避難所となる小中学校へマンホールトイレを設置してはどうか。

**答弁** 今年度から4カ年計

**信州中野駅前の整備について**

画で災害用簡易組立トイレ12基を整備していく。マンホールトイレの設置は、今後研究していく。

**質問** 「肩たたきの像」を目立つように工夫し、抽象的なモニュメントを配置換えできないか。

**答弁** 配置換えはせず、周囲の花木を剪定するなどして、本市の玄関口として際立つように工夫していく。

65歳の方が定期接種の対象となるこの機に、対象者に対し個別通知を行っては。  
**答弁** 65歳の方に個別通知を行う準備を進めている。

**市立図書館の充実に  
ついて**

**質問** 本を衛生的に利用するため、また、アレルギー

対策として、書籍消毒器を導入してはどうか。

**答弁** 効果や導入経費、維持管理費等を総合的に勘案し検討する。

**質問** 託児サービスを実施できないか。

**答弁** 場所の確保や実施方法等を検討していく。

その他の質問  
**ブロック塀等の安全対策  
について**

**理容料・美容料助成券及び  
通院費等助成券について**

**(仮称) 森林環境税及び  
(仮称) 森林環境譲与税  
について**

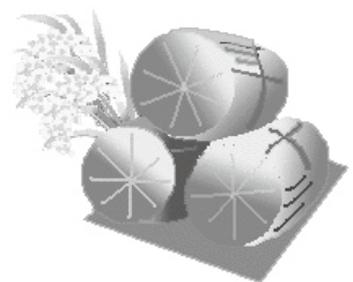
**投票率等について**

(注)

**自家用有償**

**旅客運送制度**

過疎地域での輸送や福祉輸送がバス・タクシー事業によって行われない場合に、国土交通大臣等から登録を受けた市町村やNPO等が自家用車を使用し有償で運送を行う制度のこと。



**子育て支援について**

松樹純子



**質問** 予定される幼児教育・保育無償化の課題は。また、その課題への対応は。

**答弁** 特に3歳児の受け入れは定員を超える可能性がある。また、3歳未満児の利用申し込みも増加傾向にあり保育士確保ができない場合、受け入れ園児数に制限が出てくる可能性がある。これについては、保育士確保による受皿の体制を整えるとともに、公正な入所状

態を確保するため、保護者の就労状態を随時調査して真に保育を必要とする児童の入所に努めるなどの事務改善も必要と考えている。

**質問** 公立保育所の正規保育士を増員しない理由は。

**答弁** 身分保障による人事行政の硬直化と、行政経費の継続的肥大化につながる可能性があるためである。

**質問** 今後の保育士確保策は。

**答弁** 保育所運営に関する民間活力の導入など、効率的な保育サービスの提供方法を検討する。また、採用試験の早期実施、社会人枠の保育士採用試験の実施などのこれまでの取り組みに加え、県の保育士支援制度の周知、保育士の魅力についての広報を行っていく。

**質問** 放課後児童クラブの受益者負担の検討状況は。

**答弁** 7月に小学生および来入児の全保護者を対象にアンケート調査を実施し、現在その集計結果の分析を行っている。この結果と他市の状況や経費を基に方向性を決定する。受益者負担を導入する場合は、来年度

の利用申し込み間に合うよう市民に丁寧に説明する。

**質問** 子ども医療費窓口無料化の市財政への影響は。

**答弁** 医療機関にかかりやすくなり、医療費の増に伴い市の財政負担が増える見込みである。

**質問** 今後、対象年齢の引き上げ、受益者負担をなくす等の改善は考えているか。

**答弁** 現制度を維持する。

**質問** 県教育委員会の「高校改革実施方針(案)」に示された「高校の将来像を考える地域の協議会」の設置要請はあったのか。

**質問** 国民健康保険等について非核平和宣言都市としての在り方について

**質問** 高社小学校について

**質問** 高社小学校について

**質問** 高社小学校について



農業振興について

中村 秀人

**質問** 本年度の新規就農者数と支援状況は。

**答弁** 新規就農者数は31人で、30代が14人と最も多い。新規就農に関する支援事業は、夫婦1組と個人18人の方が受けられている。

**質問** 人手不足と最低賃金引き上げによる農家の負担増に対する見解は。

**答弁** 賃金を引き上げることで、雇用は増やせるが、反面、農業経営の負担が大きくなるジレンマがある。ビジネス感覚を養っていたため「農業経営塾」を受講していただきたい。

**質問** スマート農業の実施状況および導入促進策は。

**答弁** 昨年度、新技術であるIoTを導入したブドウ農家2軒に対し補助金を交付した。今後でもできる限り支援をしていく。

**質問** 中野市食の大使の現在の活動状況および任期は。また、今後の活動予定は。

**答弁** 本市の知名度向上のため、市内園地を訪問し、農産物等の情報発信をしているほか、キノコの消費拡大に関する取り組みを行っている。任期は今年度で終了するが、任期の延長につ

いて、現在、関係機関と調整を図っている。今後もより多くの生産者との懇談の機会を企画していく。

通学路の安全確保について

**質問** 通学路における危険箇所の子童生徒への周知は。

**答弁** 交通安全教室での通学指導や教職員等による街頭指導を行っている。また防犯マップを作成し、安全確保の指導も行っている。

**質問** 安全対策の実施状況は。

**答弁** 抽出された危険箇所について、関係機関と対策を協議し、安全確保に努めている。防犯面では、警察等と点検を行い、対策を検討することとしている。

防災・減災について

**質問** 防災マップに対する市民の認知度は。

**答弁** ご覧になっていない世帯もあることから、改めて広報なかの9月号に掲載したが、今後も防災関連の説明会で周知を行う。

**質問** 土砂災害警戒区域内の危険箇所は早期に改修すべきでは。

**答弁** 県と協議し、緊急性、必要性の高い要望箇所の安全性の確保に努めていく。

**質問** 消防団員の危険箇所への出動に対する見解は。

**答弁** まずは自らの身、家族の身を守り、その後、出動していただくのが大前提である。出動の際は、常に2人以上で活動し、著しく危険が伴う箇所での活動は行わないこととしている。

(注) スマート農業

IoT技術や情報通信技術等の先端技術を活用し、農作業の超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業のこと。

(注) IoT

日本語では一般的に「モノのインターネット」と訳される。自動車、家電、IoT、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすること。モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値が生み出される。



市街地の活性化について

塚田 一夫

**質問** 信州中野駅前に誘致した宿泊施設および金融機

関移転に伴う効果と影響は。  
**答弁** 誘致および移転に伴

い信州中野駅周辺に人が滞留する機会が増えることにより市街地の飲食店等へ人の流れが生まれ、新たな店づくりにつながるなどの経済効果が見込まれ、大いに期待を寄せている。

**質問** 宿泊施設開業に関して、信州中野商工会議所を

はじめ、地元経済関係団体等と連携を図るべきでは。

**答弁** 宿泊施設側からは、中野市の玄関口にふさわしい建物、コンセプトを創り上げていきたいとの意向がある。これらに対してどんな取り組みができるのか、地元経済関係団体等とも情

中野市政策研究所について

報を共有する中で対応をしていきたい。

**質問** 将来、中野市を牽引していく人材を育てるためにも、民間からのメンバー

を加える必要があると考え  
るが。

**答弁** これまで民間の研究員はいないが、ワークショップやインタビューなどでは市民の方に参画を頂いている。なお、政策研究所規程では民間の知見を得るため、必要な知識や経験を有する方を客員研究員として

招へいする事ができるように  
定めており、必要に応じて  
検討していく。

**質問** 研究成果の施策への  
反映は行っているのか。

**答弁** 3つの研究テーマの  
うち、「シテイプロモーシ  
ョンに関する調査研究」に  
関して、若手職員による全  
庁的なチームを設置し、ス

タッフプライドの育成と市  
民協働の基礎づくりを目的  
とした取り組みを開始した。



(注)  
**シテイプロモーション**  
少子高齢化の進展、地  
域活力の低減などの地域  
課題の解消を目的とし、  
地域の魅力を発信し、知  
名度を向上させ、ヒト・  
モノ・カネを呼び込み地  
域を活性化させる取り組  
みのこと。

(注)  
**スタッフプライド**  
地域に対する自治体  
職員の愛着・誇りや職  
員であることの自覚と  
責任感を併せ持つ自負  
心のこと。

## 角間ダムと上下水道事業 について

高木尚史



**質問** 角間ダムについて県  
公共事業評価監視委員会が  
5年ぶりに一時休止の評価  
をしたと報道されたが、ど  
のように受け止めているか。  
**答弁** 関係機関と連携しな  
がら県の動向を注視してい  
**質問** 給水人口が減少して  
いる中で、角間ダム建設に  
水源を求める根拠は何か。  
**答弁** 計画策定時と数値が  
乖離してきているが、多様  
で良質な水源確保には角間  
ダムは重要であると考えて

いる。  
**質問** 角間ダムから取水す  
るとした場合、導水路等の  
建設費用が多額になり、水  
道料金の引き上げにつなが  
るが、なぜ試算しないのか。  
**答弁** 導水は、自然流下方  
式と考えている。  
**質問** 農業用水源・治山と  
してのダム建設は理解でき  
るが、本市の水道水源とし  
ては理解できないがどうか。  
**答弁** 今後関係機関・団  
体と共に、県に対し早期建

設を要望していきたい。

**質問** 水道料金・下水道使  
用料改定の見通しはどうか。  
**答弁** 来年10月に予定され  
ている消費税の改定にあわ  
せて料金を改定する予定で  
ある。水道料金は適正な料  
金設定を検討していく。下  
水道使用料は、2021年  
度に5%の改定を想定し、  
その後は10年に1度、5%  
程度の改定を見込んでいる。

## 観光施策について

**質問** 商工観光課が営業推  
進課の名称になり、観光と  
いう文字が消えた。市の観  
光施策の基本方針は何か。  
**答弁** 歴史、自然、伝統  
文化、食など多様な魅力を

一体的に生かした魅力ある  
観光地づくりを基本方針と  
している。

**質問** 具体的な戦略と取り  
組みは何か。  
**答弁** 土人形の里、童謡と  
唱歌の里をはじめ、中山晋  
平先生、高野辰之博士、農  
産物を重点的な観光資源と  
して取り組んでいる。

**質問** 信州なかの観光協会  
と中野市産業公社との組織  
改変の話が進んでいると聞  
くが、市と観光協会の役割  
と課題は何か。  
**答弁** 観光協会と連携を図  
りながら観光振興を進めて  
いきたい。組織改編につい  
ては、各組織、団体と十分  
協議をしていきたい。

## 消費税の増税について

**質問** 来年の10月から消費  
税が8%から10%に引き上  
げられる予定になっている。  
請負工事等に対する経過播  
置への対応はどうか。  
**答弁** 請負工事等の発注が  
適正に執行できるように、  
今後の補正予算や来年度当  
初予算編成で検討していく。





市長の政治姿勢について

松野 繁 男

**質問** 中心市街地の活性化策の一つとして、市が主導して集客施設を整備してはどうか。また、八十二銀行中野支店移転後の空き施設の利活用の考えは。

**答弁** 施設整備は活性化策として有効な手段であるが、市が主導することは現在、考えていない。八十二銀行中野支店移転後の跡地については、同行の所有地であり発言する立場にないが、その動向を注視していく。

**宿泊施設・企業誘致の進捗状況について**

**質問** 信州中野駅前に建設が進められているホテルの規模と開業時期の目途は。また、草間山地籍に誘致が進められている企業の規模と創業開始時期の目途は。

**答弁** ホテルは、2020年3月に客室数100室以上で開業予定である。企業誘致については、既に1社が進出済みであり、新たに4社が進出する計画である。運

輸業者が来年6月に、製造業者が来年10月に創業開始予定である。2社については詳細を承知していない。

**指定管理者制度について**

**質問** 平成30年度末で指定期間終了となる施設の検討状況と今後の進め方は。

**答弁** 今年度で指定期間が終了する施設は21施設である。そのうち16施設について公募を行った。中野市指定管理者選定委員会において指定管理を行う候補者を決定した後、議会に諮る。

**質問** 指定管理者選定委員会において「抜本的改善が必要」と厳しい評価を受けた指定管理者への対応は。

**答弁** 経営状況等が厳しいことが要因であり、指定管

理者から運営改善報告書を提出させ、指定管理者選定委員会で審査を行っている。

**中学生による海外短期留学研修について**

**質問** 実施状況とその成果は。また、来年度以降の取り組みは。

**答弁** 今年度は20名が参加し、オーストラリアのメルボルン市へ7月28日から10日間の研修を行った。生徒からは「語学力やコミュニケーション能力を高めることができた」との報告があった。来年度も同規模程度で実施予定である。

**空き家対策について**

**質問** 所有者の判明している

る空き家の管理を外部委託している自治体がある。本市でも実施できないか。

**答弁** 外部委託については近隣市町村の取り組み等を参考に、中野市空家等対策協議会で協議する。

**道路の安全対策について**

**質問** 上今井橋から栗林間は、降雨時に道路が冠水し危険と指摘されているが。

**答弁** 道路管理者である県では、早い時期に冠水解消工事を実施する予定である。

その他の質問

**ため池の安全対策について**

**シティプロモーション等におけるドローンの活用について**



子どものネット依存について

芦澤 孝 幸

**質問** 病的なネット依存と疑われる中学生・高校生がこの5年間でほぼ倍増したとの報道もある。市内の小中学生のスマートフォン利用状況は。

資料とし活用しており、市全体としては把握していない。

**質問** 小中学校での指導状況は。

**答弁** 情報モラルに係る講習会を開催したり、学年通信、学級通信でインターネ

ットによるトラブルについて取り上げるなどして、児童生徒に指導を行っている。

**質問** 保育所・小中学校から保護者への啓発等は行っているのか。

**答弁** 公立保育所での保護者への対応として、「園だ

より」への記事掲載、保育参観や人権教育研修会などの機会に啓発を行っている。小中学校の保護者への対応は、入学説明会やPTA集会等において、ネット社会の弊害について説明し、保護者自身に対しても注意喚起を促している。

**質問** 今後の対応は。  
**答弁** 学校での啓発のほか家庭と連携し、規則正しい生活や学習習慣が確立できるように、メディアを使用し

ない日の設定など、家庭内ルール作りをお願いしていく。

### 選挙の投票率について

**質問** 新庁舎における期日前投票所が2階にあるのは不便との声もあるが、どう考えるか。  
**答弁** 本庁舎における期日前投票所は、十分なスペースが確保できることやエレベーターもあることから、

2階の多目的サロンのホールに設置したもので、今後も同じ場所で継続したい。

### 住みよさランキング2018について

**質問** 今年度のランキングは、前年度全国43位から23位へと大幅に順位が落ちたが、結果をどう分析するか。今後の住みよさ向上への政策をどう考えるか。  
**答弁** ランキング算出の評

価指数の変更に伴い、大都市やその周辺自治体ほど大きく順位を伸ばす結果となった。今後も「住みよさで選ばれるまち」を目指し、中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる4つの基本目標達成に向け、各種事業に取り組んでいく。

### その他の質問 地域福祉について



## 空き家対策について

宮島 包義

**質問** 平成27年度に実施した空き家等の調査により、倒壊等の危険度が高く、また第三者に危害を与える可能性が高いと判断した空き家等に対する取り組みは。  
**答弁** 空き家等が除却されたケースや解体工事、売却予定等の報告、工事業者の問い合わせ等もあるが、全

く反応が無い方も多数いる。連絡が取れない場合には、法に基づく代執行も含めて適切な措置を講じていく。  
**質問** 中野市空家等対策計画の取り組み状況は。  
**答弁** 今年度、改めて各区长に調査を依頼しており、現在取りまとめをしている。今後は、所有者等に対して

意向調査を行い、中野市空家等対策協議会にて対応方針を協議していく。  
**質問** 市民、所有者から問い合わせ等はあったか。  
**答弁** 市民からは、危険と思われる空き家等の報告・相談、空き家等の所有者からは除却に係る相談があった。

### 農業振興について

**質問** 人・農地プラン推進上の課題とその対応は。  
**答弁** 農業課題に関する話し合いが進みづらい状況

がある。対象者を限定した懇談会の開催や先進事例の紹介を行うなど、より効果的な話し合いができる場を設ける方策を検討していく。  
**質問** 農地再生支援事業の充実を考えているか。  
**答弁** 現在、更なる支援の充実は考えていない。  
**質問** 電気柵の恒久化を検討すべきでは。  
**答弁** 恒久柵は現在のところ予定していないが、各地区の状況や関係機関からのアドバイスを受け、補助事業の導入も視野に入れながら研究していく。

## 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。

インターネット録画中継は、パソコンをお持ちの方は、いつでも本会議の様態を視聴することができます。是非、ご覧ください。

**視聴方法** 中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス（パソコンのみ閲覧可能です。）

**中野市議会ホームページ** <http://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

**配信している議会中継** 平成28年9月市議会定例会分～

**配信時期** 定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。



保育所・小中学校への  
エアコン設置について

阿部 光則

**質問** 今年の夏は、記録的な猛暑が続き「命に関わる危険な暑さ」と連日熱中症への注意喚起が行われた。今後このような暑さが常態化することが危惧される。市はエアコン設置の推進にどう取り組むのか。

**答弁** 保育所では、4歳児・5歳児の保育室および特別保育室にエアコンを設置するべく施設の詳細な調査をしている。保育所の施設整備費は、一般財源化されており、市市長会を通じて国へ財政支援の緊急要望を行った。設置費用が多額となるため計画的に整備していく。

**質問** 国にはエアコン設置を早急に進める姿勢がある。補正予算等を組み、設置を進める必要があるのでは。

**答弁** できるだけ早く設置したいという考えであるが、多額の予算が伴うことから単年度で対応するのは、財政的に難しい。全体事業費、財政支援の状況等について財政当局も含め関係部署で検討を行い取り組んでいく。

**質問** 制度の財政責任が長野県となり、中野市の国民健康保険税は、県内で率でも金額でも飛び抜けて大きな上昇となった。国は、大幅な値上げとなる場合は、一般会計からの法定外繰り入れ等をして激変緩和を図るよう通知したが、中野市が実施しなかった理由は。

**答弁** 国の通知はあくまでも、激変緩和措置を暫定的な措置として「容認する」としているもので、長野県の方針では標準保険料率に沿った保険料率の設定、法定外一般会計繰入金金の解消を進めるとしている。これまでの保険料率の経過、高齢化率、一人当たりの所得

等を検討した結果、値上げに踏み切った。

**質問** 国民健康保険制度は、構造的に保険税が他の健康保険に比べ高い。子どもが多くいる世帯ほど他の健康保険より負担が重くなる。

**答弁** 現在では考えていない。

その他の質問  
**ブロック塀への対応について**  
**介護保険制度について**  
**農業振興について**



市の財政運営について

中村 明文

**質問** 平成29年度決算では積立金残高が他市と比べてかなり多いが、公共施設等整備基金の今後の具体的な用途は。

**答弁** 本庁舎のほか小学校、保育所の整備のために取り崩す予定である。

**質問** ふるさと寄附金のこれまでの総額と充当事業お

よび寄附者への説明状況は。

**答弁** ふるさと寄附金は、平成20年度から昨年度までで8億6千429万3千余円である。寄附金は、環境保全・教育関係・産業振興・市民交流等の事業に充当している。寄附者には、広報なかのおよび市公式ホームページで具体的な用途を公表している。

**質問** 普通地方交付税に関するトップランナー方式へ

の対応は。

**答弁** 国では平成28年度から導入した。市としては、業務の効率化により経費の縮減を図りながら財源確保に努めている。

**省エネの街づくりについて**

**質問** 公共施設のLED化を進めるべきではないか。

**答弁** 新設した施設につい

てはLED化を図り、既存施設については器具の更新時にLED化を図っている。小中学校においては、計画的に電気消費量の多い職員室等から導入しており、今後も長寿命化計画の中で設置を検討していく。

**住みよさランキング2018について**

**質問** ランキングが前回かへ

ら大幅に後退している。順位回復に向けての考えは。

**答弁** 今後も住みよさで選ばれるまちを目指し、各種事業について順位の回復に結び付くよう取り組んでいく。

### 市職員の採用について

**質問** 今年度退職する職員の補充に対する考えは。

**答弁** 退職者補充を原則としつつも、今後の行政需要を見据えながら、情勢に応

じた適正な人員管理に努めていく。

**質問** 臨時・嘱託職員の正規化を行うべきでは。

**答弁** 経験豊富な人材を確保するため、新たに社会人枠を設け、応募しやすい採用試験に努めていく。

(注)

### 普通地方交付税に関する トップランナー方式

地方自治体の歳出の効率化を推進する観点から、民間委託等の業務改革を

実施している地方公共団体の経費水準を地方交付税の基準財政需要額の算定に反映させ地方交付税を交付する制度のこと。

### 道路損傷等に関する

### 通報システムについて

保科政次

**質問** 通報システムの活用状況は。

**答弁** 郵便局と「安心・安全なまちづくりに関する協定」を締結しているが、協定締結後から今日までに道

路損傷に関する通報はない。**質問** 今後はどのような取り組みを行うのか。

**答弁** 通報システムについては、県内で運用を開始する自治体が増え、全国でも

取り組みがなされている状況は承知している。今年度導入する除雪業務稼働集計システムでは、スマートフォンを利用して道路の亀裂陥没等を報告できることとな

っている。除雪が必要な時期以外にも区等に貸出し等を行い有効に活用できるように検討したい。今後、

市民向けの通報システムについても、先進地の視察および先進的な事例を研究し、

導入に向けて検討していきたい。

### 信州中野観光センターについて

**質問** 信州中野観光センターの現在の運営状況は。

**答弁** 現在、中野市産業公社を指定管理者として観光案内のほか、土人形の絵付け体験やフリーマーケット等のイベント開催、地場産

業振興のためのアンテナショップの運営を行っている。**質問** 信州中野観光センターの今後の運営をどのように考えているか。

**答弁** 当面は、本来の設置目的である本市および周辺地域の観光案内所として、情報発信の充実に努めていきたい。

### 安心・安全のまちづくり について

青木正道

**質問** ブロック塀の安全性を確かめるため、専門家を

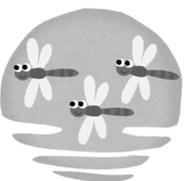
行う調査費用を市が負担することとなったが、改修お

よび撤去費用の一部を補助することを考えているか。**答弁** 現在のところ、考えていない。

**質問** 7月の西日本豪雨では、水道水源施設が被災し、飲料水などの生活用水が断たれ、市民生活に多大な影響が生じた。個人や企業が

所有する井戸について、予め災害時における使用許可を得て、井戸の場所、数、吐水量、飲用への適否等をデータベース化し、万が一の災害に備えるべきではないか。

**答弁** 井戸の多くが個人所有であること、また、災害



## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案1件、予算案2件、事件案5件について、9月19日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市行政改革推進委員会条例の一部を改正する条例案で、公募委員に関する規定を整備するとともに、より効果的な審議を行うことを目的とし、委員の任期を1年から2年に延長するもので、原案どおり可

決されました。

予算案では、平成30年度中野市一般会計補正予算(第2号)について、補正総額3億2千756万2千円を追加するもので、補正後の予算総額は、210億1千726万9千円となるものです。歳入では、地方交付税および国庫支出金の増額、繰入金金の減額などです。歳出のうち総務費では、平成29年度決算に伴う繰越

金を地方財政法の規定に基づき、基金へ積み立てるものであり、原案どおり可決されました。

事件案では、中野市新庁舎建設整備実施設計業務及び建設工事に係る設計・施工変更契約の締結について、新庁舎建設等に係る契約における契約金額が、受注者からのコスト縮減の提案や仕様変更などに伴い総額で1千275万4千800円の減額と

なることから、契約金額の変更を行うものであり、原案どおり可決されました。そのほかの予算案1件、事件案4件については、原案どおり可決されました。



中野市役所新庁舎

## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案2件、予算案4件について、9月19日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例案で、中野市デイサービスセンターうまし苑およびつどい苑を平成31年3月31日をもって廃止するため、所要の改正を行うもので、原案どおり可決され

ました。

予算案では、平成30年度中野市一般会計補正予算(第2号)について、自治会振興事業費の公会堂建設事業補助金125万1千円の増額、中野市新平岡保育園用地として新たに取得する隣地の取得費等のため保育所維持整備事業費の福祉施設用地取得費1千8万8千円の増額などであり、原案どおり可決されました。

平成30年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)については、繰越金の確定、平成29年度分療養給付費等負担金償還金の精算等に伴い、歳入歳出ともに、9千91万1千円を追加するものであり、原案どおり可決されました。

そのほかの条例案1件、予算案2件については、原案どおり可決されました。



中野市デイサービスセンター うまし苑



中野市デイサービスセンター つどい苑

## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案1件、予算案3件、事件案1件について、9月19日に審査しました。

主なものとして、予算案では、平成30年度中野市一般会計補正予算(第2号)について、土木費では、市

道の雨水対策となる側溝整備を行うため道路新設改良費764万6千円の増額、道路の維持補修業務が増加したことによる道路橋梁維持費2千588万5千円の増額、平成29年台風第21号による被災箇所への復旧費として災害

復旧費3千780万円の増額などであり、原案どおり可決されました。

そのほかの条例案1件、予算案2件、事件案1件については、原案どおり可決されました。

## 決算特別委員会報告

決算特別委員会に付託された決算認定議案9件、事件案1件について、9月13日、14日および18日に審査しました。

主なものとして、平成29年度中野市一般会計歳入歳出決算認定については、歳入総額220億7千87万6千257円、歳出総額215億7千162万9千277円となるものです。

歳入では、市税は固定資産税、個人住民税所得割の増により前年度比0・4%の増、地方交付税は前年度比4・3%の減などであり、

全体としては前年度比0・4%の減、市債は大型建設事業である防災行政無線デジタル化事業や新庁舎整備事業などの実施により前年度比50・6%の増などでありました。

歳出では、総務費で防災行政無線デジタル化整備事業および新庁舎整備事業の実施などで前年度比21・5%の増、民生費で平成28年度に新みなみ保育園整備事業が完了し、平成29年度では大型建設事業がなかったことから前年度比10・7%

の減、農林水産業費で産地パワーアップ事業補助金の増などで前年度比15・2%の増、土木費で除雪事業費の減などで前年度比16・2%の減などであり、原案どおり認定されました。

そのほかの特別会計および企業会計の決算認定議案8件、事件案1件については原案どおり認定および可決されました。

## 決算特別委員会

議会改革の一環として、昨年9月市議会定例会に決算特別委員会を設置しました。

今定例会においても、昨年同様、議員18名で構成する決算特別委員会を設置し平成29年度の一般会計、特別会計および企業会計の決算関連議案を審査しました。

多くの議員が特別委員会に参画し、多角的な視点から審査を行うことで、より一層適切な審査を実施することができました。



## 意見書

〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

保育所におけるエアコン設置等に対する財政措置の拡充を求める意見書

近年、地球温暖化等の影響から全国的に夏季の暑さが非常に厳しく、特に、今夏の猛暑では、気象庁が「命の危険がある暑さ。一つの災害と認識している。」と異例の発表を行い、また、長野県下でも、7月の平均気温が県内30観測地点のうち24地点で統計開始以来最高を記録するなど大変な暑さとなったところである。

こうした記録的な暑さは、今後、常態化する恐れがあり保育所における園児の保育環境及び保育士等の職場労働環境に重大な影響を及ぼし、さらに熱中症など健康管理が懸念される場所である。

暑さ対策としては、これまでにも保育所におけるエアコン設置が望まれてきたが、近年の夏季の高温化、

今夏の猛暑により保育所の全保育室へのエアコン設置は、猛暑への対応、対策として喫緊の課題となっている。

よって、中野市議会は、国に対し、子どもたち等の健康を守り、保育環境の充実を図るため、下記事項の実現を強く要望するものである。

## 記

1 熱中症を未然に防ぎ、乳幼児の健康を守ることができる保育環境を早急に整備するため、保育所等整備交付金について、保育施設におけるエアコン単独の設置事業を補助対象とするともに、必要な財源を早期に確保すること

2 猛暑の影響に伴う維持・管理経費の増について、公定価格の見直し等適切な措置を講じること

小中学校におけるエアコン設置等に対する財政措置の拡充を求める意見書

近年、地球温暖化等の影響から全国的に夏季の暑さ

が非常に厳しく、特に、今夏の猛暑では、気象庁が「命の危険がある暑さ。一つの災害と認識している。」と異例の発表を行い、また、長野県下でも、7月の平均気温が県内30観測地点のうち24地点で統計開始以来最高を記録するなど大変な暑さとなったところである。

こうした記録的な暑さは、今後、常態化する恐れがあり小中学校における児童・生徒の学習環境及び教職員の職場労働環境に重大な影響を及ぼし、さらに熱中症など健康管理が懸念されるところである。

暑さ対策としては、これまでも小中学校におけるエアコン設置が望まれてきたが、近年の夏季の高温化、今夏の猛暑により小中学校の全教室へのエアコン設置は、猛暑への対応、対策として喫緊の課題となっている。

よって、中野市議会は、国に対し、子どもたち等の健康を守り、学習環境の充実を図るため、下記事項の実現を強く要望するものである。

## 記

1 児童・生徒が安全に、

かつ集中して学習に取り組むことができる教育環境を早急に整備するために、自治体が計画している小中学校へのエアコン設置が計画どおり実施できるよう、補正予算の編成も含めた必要な財源を早期に確保すること。また、エアコン設置に係る学校施設環境改善交付金の補助単価を引き上げること

2 エアコンの増設や猛暑の影響に伴う維持・管理経費の増について、適切な地方財政措置を講じること

国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書

平成23年に公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律（以下「義務標準法」という。）が改正され、小学1年生に35人学級の導入が決定し、加えて、附則においては、小学2年生から中学3年生までの学級編成標準も以降順次改訂することを検討し、財源確保に努める

ものと定められた。しかし、翌年の平成24年度は義務標準法を改正することなく教員の加配で小学2年生を35人学級としたが、それ以降、国の35人学級の導入に進展が見られない。

長野県では、平成25年度に30人規模学級（35人基準）を中学3年生まで拡大した。しかし、義務標準法の裏付けがないため財政的負担は大きく、小学校では本来配置されるはずの専科教員が配置されず、また、学級増に伴う教員増を臨時的任用教員の配置により対応するなど、課題も多く残されている。

いじめや不登校、生徒指導上の様々な問題が生じるなど多様化する学校現場に対応し、教員が一人ひとりの子どもと向き合い、行き届いた授業及びきめ細やかな対応を行うためには少人数学級は欠かせない。この少人数学級については、厳しい財政状況にある地方公共団体に負担を強いることなく、国の責任において早期に実現する必要がある。また、長野県では少子化が進む中で、県や市町村が独自に教員を配置するなどして複式学級を解消している

が、地方自治体の財政的負担は大きなものとなっている。児童・生徒数が少ない市町村においても行き届いた教育を実現させるため、国の責任において複式学級を解消するよう学級定員を引き下げることが大切である。

よって、中野市議会は、国に対し、下記事項の実現を強く要望するものである。

## 記

1 国の責任において計画的に35人学級を推進するために、義務標準法を改正し、同法の改正内容に基づき教職員定数改善計画を早期に策定し、着実に実行するとともに、そのための教育予算の増額を行うこと

2 国の複式学級の学級定員を引き下げること

「義務教育費国庫負担制度」の堅持・拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、国が必要な経費を負担することにより、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を図るための制度と

して、これまで大きな役割を果たしてきたところである。

しかし、国では財政状況を理由として、昭和60年度からこれまでに次々と対象項目を外し、一般財源化してきた。また、「三位一体」改革の議論の中で、義務教育費国庫負担制度は堅持されたものの、平成18年度から費用の負担率については2分の1から3分の1に引き下げられ、地方財政を圧迫する状況が続いている。今のままでは、財政規模の小さな県では十分な教育条件整備ができず、教育の地方格差の拡大が懸念される事態にすらなっている。

よって、中野市議会は、国に対し、平成31年度予算編成において、義務教育の水準の維持向上と機会均等及び地方財政の安定を図るため、下記事項を実現するよう強く要望するものである。

記

1 教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持・拡充し、負担率を2分の1に還元すること

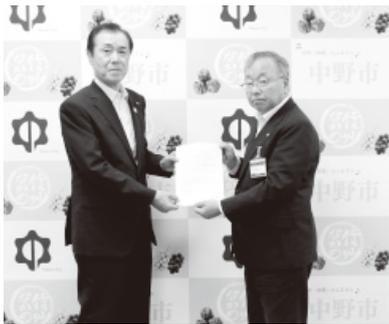
## エアコン設置に関する要望

8月30日、原澤議長が池田市長に対して保育所および小中学校へのエアコン設置の推進に関する要望書を提出しました。

近年の夏季の暑さは非常に厳しく、今後、常態化する恐れもあり、園児の保育環境および児童生徒の学習環境等に重大な影響を及ぼすことが懸念されることから、次の事項を議会の総意として要望したものです。

### ○要望事項

市内の市立保育所および小中学校の全室にエアコンを設置する取り組みを喫緊の課題として計画的に進めること。また、新設する施設は、全室にエアコンを設置して建設すること。



## 長野県市議会議長会総会



7月12日、13日の両日、本市において第160回長野県市議会議長会総会が開催されました。県内19市の正副議長など約70人が出席し、本市では、9年ぶりに開催されたものです。

総会では、各市議会から提出された国等への要望事項の協議等を行ったのち、長野県立大学 グローバルマネジメント学部 真野毅教授の「協働を通じた地方自治体の改革」と題した講演をお聴きしました。

また、複数の市内企業の視察を実施し、多くの方々に市内企業の技術力の高さをご覧いただきました。

## 北信3市議会議員研修会

### 議員研修会

8月6日、須坂市において中野市、須坂市および飯山市の市議会議員による研修会が開催されました。

研修会では、須坂市において建設が予定される一般廃棄物最終処分場および学



校給食センターについて、それぞれの計画概要の説明を受けたのち、建設予定地の現地視察を行いました。

## 東北信9市議会

### 正副委員長研修会

8月22日、長野市において第58回東北信9市議会正副委員長研修会が開催され、本市議会から正副議長および常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の正副委員長が参加しました。

研修会では、山梨学院大学 江藤俊昭教授による「これからの魅力ある市議会」と題した講演をお聴きしました。

住民自治の根幹である市議会の在り方、市議会の政策提言等について講演がなされ、学ぶべきものが多い研修会でした。



表紙の写真

中野市総合防災訓練

防災フェア

2018

9月2日、中野市防災広場において総合防災訓練の一環として「防災フェア2018」が開催されました。

このイベントは、楽しみながら家庭での防災力を高めていただくことを目的として開催されたものです。

当日は、20を超える団体・企業が防災に関するブースを出展され、多くの市民の皆様が来場されました。

お子さんを連れて来場される方も多く、家族揃って防災について考える良い機会になったのではないのでしょうか。

防災フェアには、市議会議員も参加し、災害時における電気、水道、ガス等の復旧方法の説明を受け、また、消防団による救助実演や防災啓発ブースなどを視察しました。



市議会を傍聴しませんか

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。

市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。

聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸し出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

傍聴等に関するお問い合わせ先

議会事務局  
電話 (22) 2111

(内線316)

FAX (22) 5922

Eメール

gikai@city.nakano.

nagano.jp



第5代前期  
議会だより  
編集委員名簿

(順不同)

委員長	芦澤 孝幸
副委員長	松野 繁男
委員	松樹 純子
委員	中村 秀人
委員	中村 明文
委員	宇塚 千晶
委員	青木 正道
委員	永沢 清生
委員	高野 良之
委員	町田 博文



あとがき

今年、地震、豪雨、台風、洪水、噴火などの自然災害は、この日本列島では「いつどこで起こるかわからない」と改めて痛感させられることが多い年です。

9月には、最大震度7を記録した北海道胆振東部地震が発生しました。地震大国とも言われる日本ですが、地震発生の切迫性が高まっていると報道されている南海トラフでは、M9クラスの巨大地震が30年以内に70%〜80%の確率で発生するとされ、死者数は32万人を超え、経済被害は約220兆円と試算されています。中野市は、幸運にも近年、甚大な被害が生じる自然災害には遭遇していません。しかし、今年のような台風被害、今後もどこかで起こり得る地震等への対策が必要です。

私たち、市民一人ひとりが防災意識を高めていきましょう。